

Clare Langan

A Film Trilogy



Too Dark For Night
Desert III, 2001
Film Still, Digital Print, Ed. 5

クレア・ランガン

「フィルム・トリロジー」

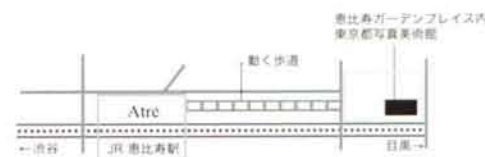
東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内 地下1階映像展示室
東京都目黒区三田1-13-3 Tel.03-3280-0099 www.syabi.com JR恵比寿駅東口より徒歩7分

2004年12月18日(土)～2005年1月30日(日)

初日は13:00-17:00 プライベートビュー／18:30-レセプション
10:00～18:00(木・金～20:00) (1月2,3,4日は11:00～18:00) 入館は閉館時間の30分前まで
休館／月曜日(1月10日(祝)は開館, 1月11日(火)は休館)、年末年始(12月29日～1月1日)

観覧料／一般:700円(560円) 学生:500円(400円) 中高生・65歳以上:400円(320円) ※()内は20名以上の団体料金



クレア・ランガン

「フィルム・トリロジー」

東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内 地下1階映像展示室
東京都目黒区三田1-13-3 Tel.03-3280-0099 www.syabi.com JR恵比寿駅東口より徒歩7分

2004年12月18日(土)～2005年1月30日(日)

初日は13:00-17:00 プライベートビュー／18:30-レセプション
10:00～18:00(木・金～20:00) (1月2,3,4日は11:00～18:00) 入館は閉館時間の30分前まで
休館／月曜日(1月10日(祝)は開館, 1月11日(火)は休館)、年末年始(12月29日～1月1日)
観覧料／一般:700円(560円) 学生:500円(400円) 中高生・65歳以上:400円(320円) ※()内は20名以上の団体料金

主催 毎日新聞社 クレア・ランガン展実行委員会
共催 東京都写真美術館
企画 nca | nichido contemporary art
後援 アイルランド大使館
協賛 東京建設株式会社 ユニマットグループ 株式会社栄光 オリコン株式会社
株式会社イー・ホームズ 文化シャッター株式会社
協力 株式会社エーアンドエーマテリアル 株式会社永田音響設計
助成 グレイトブリテンササカワ財団 Cultural Relations Committee of Ireland
認定 社団法人企業メセナ協議会



Forty Below (1999)
16mm フィルムから DVD へ変換
サラウンド・サウンド
5分間(ループ)



Too Dark for Night (2001)
スーパー16mm フィルムから DVD へ変換
サラウンド・サウンド
10分間(ループ)



Glass Hour (2002)
スーパー16mm フィルムから DVD へ変換
サラウンド・サウンド
8分間(ループ)

【クレア・ランガン略歴】

1967年ダブリン生まれ。
クレア・ランガンは、ナショナルカレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン(ダブリン)にてファインアートを学び、
1992年、ニューヨーク大学、映像科を修了。その後、各国のビエンナーレや国際展を中心に発表し注目を集めています。

「フィルム・トリロジー」は、【水・青】、【砂・黄金】、【火・赤】の三作がそれぞれ独立した作品です。
「Forty Below」(1999)にはじまり、2001年に第2作目「Too dark for night」が完成、サンパウロ・ビエンナーレ
(2002)にアイルランド代表として出品します。そして「Glass Hour」(2002)の完成によって
壮大なスケールを持つ美しい三部作(トリロジー)が完結し、
第2回リヴァプール・ビエンナーレ(2002)で全作品が一堂に初公開され大きな反響を呼びました。
その後、アイルランドRHAギャラリーにて個展を開催(2003)、続いてニューヨークのMOMAでも公開されました。

フィルムトリロジーは、アイルランド現代美術館(I MMA)、
トニー・ボDESTAコレクション(ワシントン)に収蔵されており、2004年には、
I MMAの巡回展として中国で発表された他、I MMAのコレクション展にも出品されました。

三作は、「自然の無限の力と人間のはかない存在」をテーマに、
明確な物語展開はなく幻想的で夢の世界のような構成は、独特の色づかいと相まって、
見る者の現実と非現実の境界をあいまいにします。
また、サラウンド・スピーカーによって全身が包まれるような感覚を覚える音響効果も特徴のひとつです。

本展は、映像三部作「フィルム・トリロジー」の日本での初公開になります。